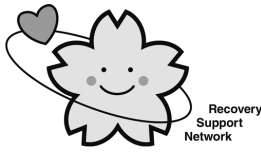


ぱちんこ依存問題相談機関 認定特定非営利活動法人 リカバリーサポート・ネットワーク  
ぱちんこ依存問題相談機関からのメッセージ



# さくら通信

92号

さくら通信とは… 小さなつぼみに過ぎない私たちの活動が、桜前線のように南の島沖縄から日本中に回復支援の輪となって広がり、これらを必要とする人たちに届くことを願って名づけました。

## 年末・年始のお休みについて

**2014年12月27日(土)～2015年1月4日(日)まで電話回線のメンテナンスのため相談業務は休止いたします。2015年1月5日(月)からは通常どおりです。**

気が付けば師走の風が吹き、今年も終わろうとしています。思い返すとIR推進法案の国会審議入りが具体化し、その影響に揺れた一年でした。カジノはカジノ、パチンコはパチンコではあるのですが、カジノという超法規的産業の創設が議論されれば、法律的に「グレー」と言われる部分を持つパチンコ産業へ世論から厳しい目が向けられることは致し方ないことでしょう。これを、とぼっちりと考えるのか、社会と遊技業界の関係を見直し、再構築の機会と捉えるか、遊技業界の未来を決める大きな選択となると感じています。遊技人口が減少してはいますが、未だに1000万人が参加し、RSNにはこの一年で3000件を超える相談が寄せられています。タバコ、酒、パチンコと個人の嗜好行動に向けられる社会の目は厳しくなっています。あまりにも「正しく」「安全」で窮屈な世界になりすぎないように、白でも黒でもなくそこそこの隙間を社会に作り続けることは、簡単なようで難しく、それゆえに娯楽提供の専門家の社会的責務だと思えます。今年一年、RSNを支援していただいた皆様に感謝をこめて御礼申し上げます。 RSN代表理事 西村 直之

## CONTENTS

- P1.....RSN News
- P2.....RSN月次データ報告
- P3.....相談電話の向こうから(その16)
- P4.....情報掲示板

## RSN News

### 【活動報告】

#### 一般社団法人 余暇環境整備推進協議会(余暇進)秋季セミナーにて講演(2014/11/12)

2014年11月12日(水)に福岡県福岡市にあるグラウンドハイアット福岡にて、平成26年度余暇進春季セミナーが開催されました。セミナー講師として西村代表が「パチンコへののめり込み・依存」のテーマで講演を行いました。(余談)講演終了後、博多区の九州ダルクデイケアセンターにお邪魔しました。

#### (公財)日工組社会安全財団 第19回「パチンコ依存問題研究会」(2014/11/19)

2014年11月19日(水)に第19回「パチンコ依存問題研究会」が東京で開催され、西村代表が参加しました。調査票の雛形ができ、春には対面調査での妥当性検討が行われる予定です。

#### 医療法人 杏月会 空の森クリニックにて職員に向けた研修講師(2014/11/5)

2014年11月5日(水)に沖縄県八重瀬町にある医療法人杏月会 空の森クリニック(婦人科、生殖医療)にて「患者さんのカラダとココロに向き合うために」と題した職員研修を西村代表が行いました。

#### 寄付・献金のお礼

株式会社メッセ様より、当法人に対してご寄付を頂きました。頂戴したご寄付は、RSNの活動の発展のため大切に活用いたします。貴重なご寄付をありがとうございました。

#### RSNに届いた寄贈品(11月1日～11月30日)

パチンコ業界誌、全国のギャンブリング、薬物、アルコール問題の相互援助グループ・回復支援施設35カ所からニューズレター・出版物が届きました。ありがとうございました。

ぱちんこ依存の相談は **050-3541-6420** 月～金 10時～16時(土日祝祭日除く)

※さくら通信は、「AJOSC」「夢屋基金」の助成、会費、寄付金などにより発行・配布を行っています。

## 2014年11月の電話相談のデータ報告

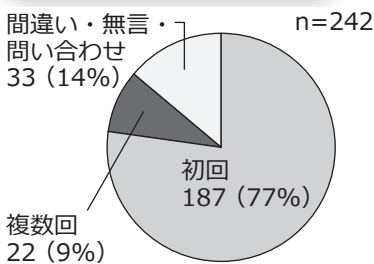
11月の相談件数は242件(前月比-2件)でした。秋から冬にかけて相談件数が減少するのが季節変動の特徴ですが、それでも今年は250件に近い件数を維持しており、昨年に続き年間相談件数は3,000件を超えそうです。

11月はNHKの「クローズアップ現代」で『ギャンブル依存症』が取り上げられ、放送後「番組を見て不安になり相談した」という方が数名いらっしゃいました。番組ではRSNを紹介していないにもかかわらず相談につながったことは、今までの地道な啓発活動の成果だと思えます。一方で『病気』のイメージを強く持った方からの相談は、なかなか相談内容がかみ合わず、苦勞したケースもありました。

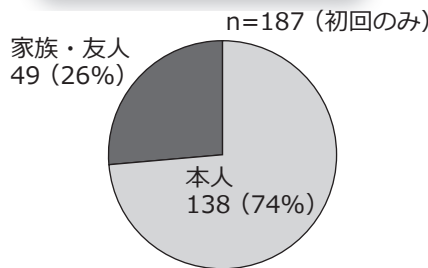
2014年11月1日～2014年11月30日 相談件数 242件

2014年1月1日～2014年11月30日 2014年累計2,879件 開設からの総件数(2006年4月～)14,606件

### ① 相談回数



### ② コーラー関係性



### ③ 性別

性別	件数	割合
男性	103	75%
女性	35	25%

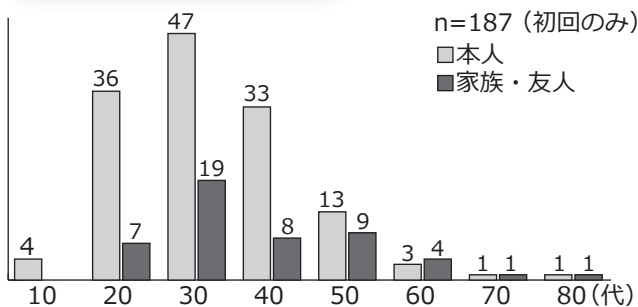
性別	件数	割合
男性	11	22%
女性	38	78%

①相談回数…初回相談187件(77%、前月比-9件)、複数回22件(9%、同+1件)、間違い・無言・問合せ33件(14%、同+6件)でした。依存問題が注目されると、問い合わせが増える傾向が感じられます。

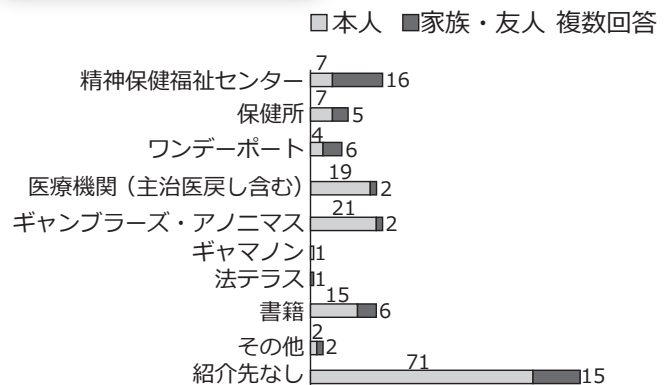
②コーラー関係性…初回相談の内訳は、本人138件(74%、前月比-16件)、家族・友人49件(26%、同+8件)でした。本人相談は2カ月連続で16件減少しています。

③性別…本人性別の内訳は、男性103件(75%、前月比-13件)、女性35件(25%、同-3件)、家族・友人性別の内訳は男性11件(22%、同±0件)、女性38件(78%、同+8件)でした。

### ④ コーラーの年齢



### ⑤ 紹介先



### ⑥ 経路

経路	本人	家族・友人	合計
ホール内ポスター	77	6	83
インターネット	31	33	64
TV	1	0	1
雑誌	3	0	3
他の相談機関	2	4	6
ホール貼付ステッカー	5	0	5
その他	15	5	20
不明・拒否	4	1	5
<b>総計</b>	<b>138</b>	<b>49</b>	<b>187</b>

④コーラー年齢…本人からの相談では、前月と比較して20代の減少が大きく(前月比-19件)、家族・友人からの相談は30代の件数の多さが目立ちました。

⑤紹介先…「依存症かどうか」という相談をお受けした場合、本人や周囲の方が苦しんだり傷ついたりしてないかに注目し、その困りごとをどう解決していくかを念頭に紹介先を考えています。

⑥経路…ここ数カ月、インターネット経由では「テレビ等で『ギャンブル依存症』を知り、ネットで検索してRSNにたどりついた」という相談者が増えています。

## 相談電話の向こうから（その16）

2014年レジャー白書によると、パチンコ参加人口は970万人。そのなかには、適度に遊技されている方から過度にのめり込む方と様々な方がおられると思います。「一度コントロール出来なくなると、直線的に悪化し、破滅的な生活になる」と言われることがありますが、本当でしょうか？勿論そのような経過をたどる方もおられますが、すべてが同じというわけでもないようです。ユーザー個々で遊技との関わり方や問題化していく背景や経過も違います。今回の事例は、長期間遊技から離れていたAさんの事例を取り上げました。

なお、ここで提示した事例については相談者が特定できないよう一部加工してあります。

### ケース 「スロットを再度始めたことが心配なAさん」

**相談者：Aさん 40代 男性（本人）**

大学卒業後に一般企業に就職したAさん、現在は自営業を営んでいる。仕事は順調だが、スロットを再度始めたことが心配になりRSNに相談。Aさんとスロットとの関わりは、大学在学中に遡る。遊技歴は約20年と長い。スロットを始めた学生当時は射幸性の高い機種が多く、一日で10万円を超える金額を手に入れたこともあった。学生時代の10万という金額はとても魅力的だった。学業をそっこのけにスロットに夢中になり、就職してからもスロットに没頭し、借金を抱えるようになった。20代は借金の繰り返しが続く、いつも金銭的な不安を抱えて生活していた。この生活に嫌気がさし、スロットから離れる決意をし、借金を自己返済しながらスロットから離れた生活を送るようになった。30代は全くスロットをすることはなかった。再度始めたのは半年ほど前から。時間があつたので久しぶりに時間つぶしがてらに遊技した。その時は1時間程度で飽きて止めた。現状は月に2～3回程度だが、まれに仕事の合間に行ってしまうこともある。昔のようにコントロールが効かないことはなく、遊技時間も1～2時間と短く、それ以上のめり込むことはない。しかし、一度コントロール出来なくなった人は、何年やめていても再度遊技を始めるとまた元のような生活に戻ると聞いたことがある。自分もこのまま続けると以前の生活に戻ってしまうのか不安になる。続けることは問題でしょうか？

#### ◎相談員の感じること



RSN電話相談には様々な問題レベルの方からの相談が寄せられます。問題化するまでの背景や経過にはひとりひとり違いがあり、皆一様ではありません。問題を感じる程度の差もありますし、その時々々の経済状況や生活環境で問題が変化することもあります。遊技頻度や使用金額は同じでも収入状況が変化するだけで家計に与える影響は違います。皆さまの周囲にも、「若い頃は借金を繰り返してパチンコしていたけれど、今は全くやらない」という方がおられるのではないのでしょうか。年齢を重ね社会経験を積むことで意識の変化が生まれ自然に問題が縮小していく、いわゆる自然寛解する方もおられると思います。

また遊技する理由も、お金や勝ちを求める方、ストレス発散、はたまた自分の居場所を求めてホールに通われる方と様々です。一方、メディアで報道されているような、遊技を続けることで生活がままならなくなってしまういわゆる病的な方もおられます。一般の方はこのような病的な方を想像されるのではないのでしょうか。しかし、問題を抱える相談者全てが病的な状態ではありません。相談をお受けして感じることは、相談者によって、問題の度合いや問題を感じる程度、経過は幅

が広いということです。直線的に皆同じ病的なレベルに達するわけではありません。個々を取り巻く状況によって問題レベルは変化するため、相談をお受けする際には、現状の把握だけではなく、問題がどのように変化してきたのか評価することがとても重要です。

Aさんのように問題があり長期間スロットから離れて生活していた方が、再び遊技を始めることもあります。かつては、問題レベルであっても一定の期間遊技から離れたことで、その後は、適度にコントロールしながら遊技される方もおられます。しかし、どのような方がコントロールユーザーに戻れるのかは明確ではなく、Aさんを援助する上での目標設定にはなりません。現状から考えると、社会経験も積み、自己改善による対処能力も高いことがうかがわれ、直ぐに問題が重篤化することはなさそうです。コントロールが困難になる危険性はありますが、「病気の再発です、スリップです。以前と同じ状況に戻りますよ」といった過度な恐怖を与え改善を促すような動機づけをしなくても、冷静に自分の遊技との関係を見直してもらうことが可能であり、有効だと思えました。単に病気の再発という短絡的な見方で相談者に不安を与えても、行動の修正に役立たないばかりか、かえって問題への対処行動を混乱させてしまいかねません。



## 情報掲示板

### 家族教室 / 相談

都道府県	名称	日程	時間	主催	問合せ先
宮崎県	依存症専門診療相談	毎月第1・3月曜日	午後	宮崎県精神保健福祉センター	0985-27-5663
	ギャンブル依存症者の家族のつどい	毎月第1木曜日	13:30～15:30		
熊本県	依存症家族ミーティング	毎月第3金曜日	13:30～15:30	熊本県精神保健福祉センター	096-386-1166
佐賀県	ギャンブル依存症・家族教室	毎月第4火曜日	14:00～16:00	佐賀県精神保健福祉センター	0952-73-5060
長崎県	家族教室・家族のつどい	要問合せ		長崎こども・女性・障害者支援センター	095-846-5115
山口県	ギャンブル依存症の家族相談	まずは電話相談をご利用下さい		山口県精神保健福祉センター	0835-27-3388
鳥取県	ギャンブル依存症やその対応についての相談	月～金	8:30～17:15	鳥取県立精神保健福祉センター	0857-21-3031
島根県	病的ギャンプリング相談	要問合せ		島根県立心と体の相談センター	0852-21-2885
愛媛県	依存症に関する相談	月～金	8:30～17:15	愛媛県心と体の健康センター	089-911-3880
高知県	家族支援プログラム	毎月第1月曜日	要問合せ	高知県立精神保健福祉センター	088-821-4966
滋賀県	アディクションセミナー	奇数月第3木曜日	13:30～16:30	滋賀県立精神保健福祉センター	077-567-5010
	家族交流会	偶数月第3月曜日	10:00～12:00		
三重県	依存症問題家族教室	偶数月の金曜日	14:00～16:00	三重県こころの健康センター	059-223-5243
福井県	依存症を考えるセミナー	毎月第1水曜日	10:00～12:00	福井県精神保健福祉センター	0776-24-5135
石川県	依存症教室	要問合せ	10:00～12:00	石川県こころの健康センター	076-238-5750
長野県	依存症家族グループミーティング	毎月第2・4木曜日	13:30～15:30	長野県精神保健福祉センター	026-227-1810
神奈川県	家族個別相談	毎週金曜日/要予約	10:30～15:00	認定NPO法人ワンデーポート	045-303-2621
	依存症電話相談	毎週月曜日	13:30～16:30	神奈川県精神保健福祉センター	045-821-6937
	薬物・ギャンブル問題家族セミナー	毎月第4火曜日	14:00～16:00	川崎市精神保健福祉センター	044-201-3242
東京都	家族教室	第1火曜日及び第3・4火曜日	13:00～15:00	東京都立多摩総合精神保健福祉センター	042-371-5560
	アルコール・ギャンブル依存症問題でお困りの方へ	毎回金曜日	10:00～12:00	東京都立中部総合精神保健福祉センター	03-3302-7711
	ギャンブル家族教育プログラム	毎月第3金曜日	14:00～16:00	雷門メンタルクリニック	03-5828-3841
埼玉県	ギャンブル依存症の相談	月～金	9:00～17:00	さいたま市こころの健康センター	048-851-5665
山形県	依存症相談会	1月21日(水)	要予約	山形県精神保健福祉センター	023-624-1217
北海道	ギャンブル研究会	毎月第2・4火曜日	18:30～20:00	北海道立精神保健福祉センター	011-864-7000

### セミナー等

都道府県	名称	日程	時間	主催	問合せ先
沖縄県	依存の問題の支援に携わる人たちの勉強会in沖縄	1月17日(土)	10:00～12:00	依存の問題の支援に携わる人たちの勉強会(沖縄勉強会)	098-871-9671 (RSN)
	参加費 500円 事前申し込み必要(依存の問題を持つ本人と家族は参加できません)				
神奈川県	家族・支援者向きセミナー ギャンブル依存症再考	1月11日(日)	13:30～16:00	認定NPO法人ワンデーポート	045-303-2621 ワンデーポート
	参加費 1,000円 事前申し込み必要				

ぱちんこ依存問題で困っていませんか? ☎050-3541-6420 月～金 10時～16時(土日祝祭日除く)

さくら通信 第92号 月間 2014年12月18日発行

発行所:認定特定非営利活動法人 リカバリーサポート・ネットワーク 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町上原103ルボワYARA2F

電話&FAX: 098-871-9671(事務専用回線) Email: recovery-support-net@theia.ocn.ne.jp http://rsn-sakura.jp

お問い合わせや確認のお電話は、事務用回線をお使い下さい。